

すわみつえ通信

No.104 2019年 12月23日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

今年も一年間ありがとうございました

すわみつえ通信を受け取り、読んで、拡げていただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

身近な困ったことや安倍政権への怒りも含めて声を寄せていただいたことが議員にとって何よりの支えでした。新しい年も引き続きのご支援をお願いして、年末のご挨拶と致します。

12月市議会定例会 一般質問行う



鴻巣市議会 本会議場
(本庁舎5階) =12月4日

気候変動による豪雨に対応する抜本的な治水対策について

大間調整池が溢れ、幸町周辺に起きた浸水被害は調整池の容量が不足しているのではないかとという市民からの指摘があります。豪雨に対応できる治水対策として、雨水事業計画の見直しの考えがあるか質問しました。

市からは、「平成29年の台風21号や今年の台風19号で受けた影響も考慮した雨水管理総合計画の見直しを行うております。事業計画説明会で住民の皆さんへの説明を行います。」という答弁がありました。

引き続き、住民の皆さんが安心して住み続けられるよう取り組んでまいります。

公共施設における除草剤使用について

上谷総合グラウンド・吹上総合グラウンド等の体育施設で、世界的に問題点がクローズアップされている「グリホサート」を主成分とする除草剤が使用され、また、屈巢・広田・共和放課後児童クラブなどでは、「非農耕地用」除草剤を本年3月から8月にかけて使用しています。川里ポプラ館では、昨年より6月・8月にラウンドアップを使用していました。

他市の市民含めて多くの市民や子どもたちが利用する施設で、除草剤を使わない手立てはないか、やむを得ず使う場合には、より安全性の高い物に変える考えはないか質問しました。

市からは、「利用者に対する影響が最小限になるよう努力します。」と答弁がありました。

除草時期となる頃に引き続き申し入れをしていきたいと思います。

敬老会アンケートについて

敬老会実施団体代表者に本年11月15日に郵送され、11月29日回答期限でアンケートが行われました。敬老会の在り方についてということですが、財源まで問うような内容であるため、目的とその結果をどのように使うのか質問しました。

市からは、「結果を精査分析することにも引き続き意見を聞いていきます。」との答弁でした。来年度の予算編成をしているタイミングに合わせるようなアンケートであることから、財源削減の材料とすることのないよう今後も注視していきます。

新ごみ処理施設建設・市長説明

市議会最終日、閉会後の全員協議会において、原口市長から新ごみ処理施設建設の白紙撤回に至った経緯について説明がありました。残念ながら、詳細の説明とは言えず、計画破綻の理由は行田市長にあるとの主張のみでした。

駅頭大宣伝行動 in 北本
「市民が野党をつなぐ埼玉6区連絡会」とともに、安倍9条改憲No! 19行動を北本駅で行いました。
12月19日(木) 18時



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

憲法の尊重擁護は国側

憲法について、次のような主張をしばしば耳にする。

今の憲法には、国民の自由や権利ばかりが書かれていて、義務の規定が少ない。権利には義務が伴うものである――。

憲法とは何かという根源的な問いを理解するためには、憲法における権利と義務がどのような関係にあるのかを把握しておく必要があると思う。そこで私は、憲法に関する授業や講演の時に、冒頭で次の質問をしている。

「憲法を尊重し擁護する義務を負うのは誰か」

そしてその選択肢として、国民、天皇、摂政、国務大臣、国会議員、裁判官、その他の公務員を挙げる。するといつも、大半の受講者が「国民」に拳手を

する。国民も憲法を尊重し擁護する義務があると思ひ込んでいる人のなんと多いこと。どうも、憲法の権利・義務が代償的な関係にあると勘違いしているのではないか。

「権利には義務が伴う」。この言葉を聞くと、それは当たり前前のことではないかと納得してしまう。たとえば、金銭貸借の場合、お金を貸した人にはお金を返してもらう権利が生じる。

一方、お金を借りた人は返済の義務が生じる。ただし、憲法における権利と義務は、このような考え方は成立しないのではないだろうか。ちよつと考えてみてほしい。日本国憲法は教育、勤労、納税の三つを国民の義務として定めている。また、大日本帝国憲法は兵役と納税の二つだった。なぜ、このように義務は少ないのだろうか。

本来憲法とは国民が自由や権利を定めるもので、義務は例外的なものだからだ。明治憲法制定の中心となった伊藤博文も、そのことを認識していた。憲法は、人が生まれながらに持っている人権を国家権力から守るために、主権者である国民が定めた国の最高法規だ。国の政治は憲法に基づいて行うよう国民が権力者に命じたものだから、本来憲法を尊重し擁護する義務があるのは国側だろう。天皇や国務大臣など、憲法を尊重し擁護する義務がある対象を定めた第99条に、「国民」が入っていないのはそのためだ。様々な疑惑に対する説明責任から逃れようとする現政権こそ、義務や責任を果たそうとする姿勢が欠如しているのではないだろうか。国民も、賢明な主権者になるために学習し、義務や責任に應える政治家を選ぶ必要があると思う。

（文教大学生涯学習センター講師）
早川明夫

先月来日したローマ教皇のスピーチには感動した。教皇は、戦争のために原子力を使用することを犯罪と断罪し、核兵器の保有を否定、「核戦争の脅威による威嚇をちうつかせながら、どうして平和の提案ができるでしようか」と核抑止論を厳しく批判した。

彼スピーチは、2017年に国連で採択された核兵器禁止条約の内容に沿うものだっただけではない。原爆の悲惨な被害に言及し、生き延びた原爆被災者に深い敬意を表明

ローマ教皇のスピーチ

者を抱えるキリスト教最大の教派、ローマ・カトリック教会のトップとして、一貫して核兵器廃絶を主張する高年齢の教皇が、日本の高

彼の心に届いているにちがいないと感じた。「日本は唯一の戦争被爆国であり、政府は、核兵器禁止条約が目指す核兵器廃絶という目標を共有している」としながら「日米同盟の下で核兵器を有する米国の抑止力を維持することが必要です」（外務省HP）という日本政府の態度を変え

アフガンの天に舞う



整備を支援した用水路の前に立つ中村哲医師（2005年8月10日、アフガニスタン東部）

天声人語

国籍を超え、同じ桜のジャーシーに身を包むラグビー日本代表。「一心桜体」を体現したチームに列島がわいた。ゴルフの渋野日向子選手は全英女子オープンを制して「覇顔溢笑」。新しいヒロインが誕生した▼住友生命が発表した年末恒例の「創作四字熟語」である。30回目を迎えた今年は、過去最多の2万編が寄せられた。歌人の俵万智さんが選んだ優秀作10編と入選作40編で、この1年を振り返る▼今年は台風の被害が東日本で相次いだ。千葉で電力インフラをなぎ倒した「電倒多難」は、今後の対策も前途多難。10月には、あちこちの河川で水があふれる「多川氾濫」が▼沖縄の象徴・首里城が猛火に包まれた。「茫然城失」の多くのまなざしが、失意の深さを物語る。京都では卑劣な放火でアニメ製作に携わる36人もの命が失われ、世界中から「哀京之意」が届いた▼隣国との関係は冷え切った。「韓係改善」の道筋がなお見えない。EU離脱をめぐる英国は「右英左英」の連続。今月の総選挙は離脱派が制した。国内では戦争のない平成が幕を閉じ、新元号の発表でお祭りムードに。国際平和ならぬ「国祭令和」だった▼作品の募集締め切り後のニュースで、小欄も練ってみた。アフガニスタンで多くの井戸と水路を残した中村哲医師。その献身に「灌漑無量」だった住民たちが、凶報に涙した。首相主催の桜を見る会で、問題が次々と。税金で地元支援者をもてなす「桜飯振舞」にあぜんとした。追及は年を越えて続くか。